

たけね

自主学童保育士のほくら
2022年 12月23日(金)

サンタがささのほにやってきました!!



HoHoHo~! 12月19日(月) みんなが
楽しみにしていた「サンタの来る日」。いつも
のんびりしている人も「えっか、サンタの日か!!」と11時で宿題を
すませるなど、なんとなく室内に「ソワソワ感」が伝わっています。
壁には年代ものの「クリスマスストーリー」が飾られ、電飾が
赤青黄に光り気分も盛りあがりま。外が暗くなったころ、1Fに集まり、部屋の電気を
消して暗な中で「あんな町のサンタクロース」を唄いながら「カー、ター」来ると、サンタが
窓から登場。カーカーと大興奮の中、何やらさしたサンタさん。「みんなの夢は何ですか?」
と質問しながらひとりずつにプレゼントを手渡してくれました。男女別、高学年、低学年別、幼児
さんにもプレゼントがあるの、サンタさんの持つ白い袋はパンパンでずっしり重そうでした。
「ほくはけん玉がはやくなりたい」「お金たくさんかせたい」という人、「プロ野球選手になりたい」
とちゃんと答える人、「おにぎりの具になりたい、サケね」とお返しの人。女子は「バレー」「ファッション
デザイナー」「学校の先生」「保育園の先生」の他、「水族館の飼育員」という人が3人もいました。

サンタさんが帰っていったあとは、プレゼントを開けるお楽しみタイム!! 布の
袋の中味は何かな? 男子はカードゲームや知恵の輪、極小パーツのブロックなど。
さっそく箱をあけてブロックを組み立てる人続出。「お盒貸すからこの上でやるわい」と部品なぞを
お返しに来たお母さんに「待って!!」飛行機や電車など、かなりマニアックなものも登場して
いました。女子の袋にはマスクやヘアゴムや鏡、シールなどの他、低学年にはお人形と着せかえ用の
お洋服セットも入っていて、こちらもさっそく着せかえっこ。「エーちゃん」という名前の子のお人形さん
でしたが、「私はエリリになる」「私はリリーかな」「んじゅあエリちゃんになる」など決めて、ブツをおかせたり
髪をゴムでとめたり、それ以外は楽しそうにあそんでいました。サンタさん ありがとうございました!!

いよいよけん玉大会が近づいてきました!! (12月28日(水)で)

大会前最後の**ウレシ**で、けん玉熱も最高に盛りあがっています!
12月21日(水)、お土産を切りあげて馬鹿つけてくれたタニシさん。ちょうど全員で「ささのほクラブ」の
予選をやっているところに登場しました。👀から交代して審判となったタニシさん、いまの号令「構えッ、
はじめっ!!」と、太鼓で(まるで長友のブレイクのように)叫んだので、初めて聞いた1年生はみな
ギョギョッとびびっていました(笑)。でも本番でも(段の部の人)この声を聞くんだから、よいリハサレに
なりました。シーンと張りつめた空気を作ったり、楽しめそう(こと)もたちの世界に入っていったり、タニシ
本当に不思議な力を持つムードメーカーです。貴重な時間を使って、まずはタイムリミットの練習です。
ささのほは、このゲームで昨年優勝、トロフィーを持つタニシさん4年選手。勝負の決め手は、7-10級、
4-6級の小学生に、いかに回数多くまわせるか、だそう。同じ技をやる人の列は少ない方が有利。

人数の多い3級〜準初段の人たちは必死でとけん成功率を高めようとしている、段の人たちも心を
ひとつにして難しいウレシや うらぶりけんを一発で決めるべく練習しています。4-6級の小学生は「必死」
「せーの!」とカチャッと全員で技を成功させると、後ろの高学年から「ナイス〜!!」の声か。やっぱルビエ
理解したばかりのおぼつかない1年生が「失敗しても「ドンマイ」でできるよ〜!」と声をかけてくれる人が
いることがうれしいです。去年の優勝スコア111点にはまだ届かず70点以下の状態ですが、ここから
どんどん伸びていくはず。団体戦(11人)も、84-62という結果。必ず全員でこの11人に参加
してもらうので、ドキドキ感を味わってほしいです。ドキドキしやすい人、逆に度胸のある人、右王左王、など
考慮してメンバーを決めました。モチベーションをねらっている人もいます。みんなの努力が報われますように!

— **6年生の4カラ** —
最近ととん身体も大きくなって、話し方も
大人っぽくなってきた6年生。お返しにもロケット
羊羹などもあるけれど、成長を感じる時
ももちろんあります。タニシさんの最後の時間は
いつも決まって「お菓子がもらえる」勝ち抜きゲーム。
各級の人数によって〇人までね、と始まりま。す。
「あと1人だね、今残ってる二人がもし失敗
したら敗者復活だよ」とタニシが言ったとき、
7-10と興奮したみんなが、二人にみかけて

「失敗しろー」と叫びました。その時、6年の、
いつもはさける男子が大きい声で放った言葉は
おい、そういうの、物とけ〜!! でした。
こういうコトバが自然に出てくる場所、
いいなあ〜と感じました。みんなもよく静かにな
りました。ささのほの日常では、言い争いや
ケンカもあるけれど、とことんやってもほとほとの
ところで止めたり、たまたまたりしてくる6年生が、
考えられるのはうれしいことです。6年生の力を
もっとも、発見していきまいたいぞ。